

# ザックかっいで

2月グループ山行

2月19日～20日 吾妻山～烏帽子山～毛無山

参加者 16名

CL 宮木一 SL 小林、小山  
中島康、竹野弘、熊谷修  
原田、坂井、三浦、津田  
竹野栄、熊野、川村  
村島、安永、小寺



コースタイム

19日 県庁北 12:50⇒休暇村吾妻山 15:30 着(泊)

20日 休暇村吾妻山 8:45→吾妻山 9:50→烏帽子山 11:25～(昼食)～11:50→  
出雲峠 12:40→毛無山 13:40→県民の森 14:40～15:10⇒県庁北 17:30 帰着

○

雪山山行としての服装・装備は各自良く出来ていた。

今シーズン初めての雪山という人もおり「ワカン」の止め方が十分に出来ず出発に手間取ってしまった。

定例山行として雪山を最低でも2回は実施して欲しい。

一日目(2月19日(土))

県庁北を出発の空模様は晴れだが、途中から雨。そしてみぞれとなり休暇村に到着した時は粉雪が舞っていた。

到着後、休暇村の北斜面にある「小坊主」で約1時間、『そり遊び』を楽しむ。

一人また二人乗りで、雄叫びや歓声をあげながら雪にまみれ白一色となって童心に返っている人が多かった。

二日目(2月20日(日))

この日の天気予報は雪。気温は最高が+2°C、最低が-2°Cである。

出発時、横なぐりの風が時折強く、粉雪が顔面に冷たく当たる。

夜来の新雪(約10cm)を踏みしめ『八の字』歩行をする。

吾妻山への尾根筋には雪庇<sup>せつび</sup>があり注意を促し、また登り急斜面ではキックステップしながら歩を進める。

吹雪のおかげで樹氷がたいへん美しく、幻想的な薄墨<sup>てんもく</sup>の世界は刮目に価した。

『えびのしっぽ』も見ることが出来た。下山口の県民の森近くで「つららのキャンディ」をロ一杯にほお張って、昔を懐かしむ人もおり、雪山を大いに楽しんだ山行でした。

(記 小山 晃)